

主な特色ある取組み実績

()内の地域は所管財務局等の別

・中小企業金融の再生に向けた取組み

1. 創業・新事業支援機能等の強化

- ・県等と連携しベンチャー支援を目的としたファンドに出資を行うべく、15年9月、日本政策投資銀行と業務協力協定を締結。(銀行 関東)
- ・中小企業支援センターの母体である財団法人と共同出資で投資事業組合(ベンチャーファンド)を設置。同センターから講師を招き法人専担者を対象に講演を実施。(銀行 東海)
- ・産業クラスター計画に係る補助金交付先に対するつなぎ融資制度(「産業クラスター計画サポートローン」)を創設し、融資を実行。(銀行 近畿・沖縄)
- ・業種別(船舶貸渡業・ノンバンク)の審査体制を拡充し、海運業、土木・建設業の業種別担当者の配置。また、特定業種の会社へ研修生を派遣。(銀行 四国)
- ・融資エリアの中核店舗に中小企業診断士4名を配置した起業家支援センターを設置。審査難度が高い融資案件について、営業店と連携することにより審査態勢を強化し、融資実行。(信用金庫 北海道)
- ・金庫主体の出資により、産学の両方が連携した事業支援のためのファンドを組成し融資を実行。(信用金庫 関東)
- ・創業・新事業計画先に対して開業準備の方法や事業収支シミュレーション等の相談を行う「創業支援制度」を創設するとともに、専用ローンを実行。(信用金庫 東海)
- ・中小企業支援センター等と連携して、RCCに債権譲渡された企業(破たん金融機関の取引先)について掘り起こしを行い、再生可能と判断される企業へ支援のための融資実行。(信用金庫 北陸)

2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

- ・インターネットによる会員制の法人経営者向け情報提供サービスを開始。(銀行 北海道)
- ・近隣三県の地域銀行が提携し、県境を越えた販路開拓や企業進出、M&Aに関するビジネス情報の提供・マッチングを実施。(銀行 東北・東海)
- ・医療分野での開業支援において専担者を配置し、ノウハウを蓄積し融資実績をあげ、県内の開業医の約9割に融資。(銀行 東海)
- ・地域での産学官一体となった中小企業の財務・経営管理能力向上支援の活動について、地域金融機関として積極的に協力するとともに、取引先支援の一環として当行独自の取組みも実施。(銀行 福岡)

- ・中小企業の育成のために自金庫が主催して海外貿易ミッションを派遣し、取引先に対し海外企業との商談の場を提供。
(信用金庫 九州)

3. 早期事業再生に向けた積極的取組み

- ・地元企業の再生のため、RCCの信託機能を積極的に活用すべく、RCCと業務委託契約を締結。
(銀行 北海道)
- ・自治体と共同で地域の中小企業向けの再生ファンドを設立。
(銀行 北海道・九州)
- ・地場百貨店の事業再生に向け産業再生機構を活用。
(銀行 東北)
- ・DIPファイナンスの新規案件の発掘により取扱い実績は順調に増加。更に今後はリスクに見合った収益性の確保を推進。
(銀行 関東)
- ・日本政策投資銀行と連携し、地域の中小旅館向けの企業再生スキームを組成。
(銀行 東海)
- ・当行メイン先で債権者の協調が困難なために再建に支障を来している先を選定し、中小企業再生支援協議会の調整機能を活用。
(銀行 中国)
- ・経営改善計画が中小企業再生支援協議会等の審査を了した案件について、優遇金利・原則無担保で貸し出し、計画どおり改善されれば優遇金利を引き続き適用する新商品の発売。
(信用金庫 四国)
- ・当組合がメイン取引先となっている企業に支援協議会を紹介。商工会議所、診断士と連携し、再生計画の策定・承認を受け(県内第1号) 現在、進捗状況をフォロー中。
(信用組合 中国)

4. 新しい中小企業金融への取組みの強化

- ・県と共同での地域CLO(貸付債権担保証券)についてアレンジャー業務を受託。
(銀行 関東)
- ・起業家支援及び事業再生支援の無担保・第三者保証不要の融資制度を創設。
(銀行 北陸)
- ・CRD(信用リスクデータベース)のスコアリングモデルを審査と金利設定に活用した無担保・第三者保証不要の新商品を発売開始
(銀行 近畿)
- ・現状、経営内容が厳しくとも、資金繰りを支援することで再生・再建できると目利きした企業に対し、無担保・第三者保証不要の資金提供を実施。
(信用金庫 関東)
- ・デフォルトデータ蓄積により、内部スコアリングモデルに基づく新規商品の販売。
(信用金庫 中国)
- ・金庫の会員である税理士と顧問契約を結んでいる企業を対象とした金利優遇商品の増強や、会員税理士のネットワークを活用した新規顧客の開拓。15年上半期、当該商品に個人事業者を追加したほか、金利引下げを実施するなど商品内容を更に拡充し融資を実行。
(信用金庫 近畿)

5. 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化

- ・苦情トラブルの一元管理と計量化を実施するとともに、その処理状況はイントラネット上のシステムで各部署へ報告。その結果、苦情・問い合わせ等は減少している。

(銀行 関東)

各金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み

1. ガバナンスの強化

- ・総代の70歳定年制及びディスクロージャー誌での総代の氏名掲載。一定の取引がある会員を対象に総代会の主な議案を事前に説明し、総代会でその意見を紹介する等といった仕組みの検討。

(信用金庫 福岡)

2. 地域貢献に関する情報開示等

- ・地域貢献にテーマを絞り込んだミニディスクロージャー誌を作成。

(銀行 東北)

- ・15年3月期のディスクロージャー誌において、「地域への信用供与」、「地域振興への貢献」、「地域サービスの充実」等について、顧客に分かりやすい形で情報開示を大幅に充実。更に内容・質を向上するため顧客へアンケートを実施。

(銀行 関東)

- ・金融業務を通じた地域社会への貢献についてのディスクロージャー誌をとりまとめ、発刊。

(信用金庫 関東)